

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

Zoomによるオンライン講義

受講希望者は前日10月21日(水)17時までに、下記の連絡先まで問い合わせ下さい。

なお、本学の学生については出席確認のため本講義を受ける際は本学の機関登録をしたZoom IDとパスワードでログインするようお願いします。

記

演題：蚊媒介性感染症のバイオロジー

講師：東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座
主任教授 嘉糠 洋陸 先生

日時：2020年10月22日(木) 17:30～19:30

内容：寄生虫(parasite)は、“para(傍らで)”と“site(食べる)”というラテン語の語源が示す通り、生育に必要な栄養素を感染した宿主に依存する生物である。マラリア原虫は、蚊の吸血によって媒介され、蚊と宿主との間を行き来する。感染した人間に重篤な症状をもたらし、世界で年間に40万人を死に至らしめている。マラリア原虫を運ぶ蚊が「地球上で最も人類を殺している生物」と名指しされて久しいが、その実は、マラリア原虫が宿主とが共倒れになっている、一見矛盾した現象の裏返しである。我々は、齧歯類モデルを中心に、栄養学的見地からその謎について研究を進めている。栄養を搾取するために寄生虫が果たした共進化とその破綻の可能性について、我々の最新の知見を踏まえて議論したい。

細菌感染制御学分野 鈴木敏彦
(連絡先：飯田真珠子 tamaiida.bact@tmd.ac.jp)